

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度		2023年度	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	環境園芸学科				
科目名称	自然環境実習					授業形態	実習			
科目コード	710021	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験教員		アクティブラーニング	○	
担当教員名	新谷 喜紀							ICT活用	○	
授業概要	<p>本実習では、身近にも種々の生物が暮らしており、その分類群や生態系におけるそれぞれの役割について学ぶことを目的とします。山にも川にも街の中にも多くの野生生物が生息しています。南九州大学の都城キャンパスの近辺にも多くの生物がいます。これらは、人の生活に間接的に影響を与えていなくても、寄生者と寄主だったりするといったように環境中で互いに何らかの関係があったり、間接的に人に関係があるかもしれません。しかし多くの種は通常人に気づかれることはない。本実習では、身近にいる生物の分類や生態、その観察法や標本作製法を学び、自然や環境に対する理解を深めていきます。</p>									
関連する科目	昆虫学、自然環境実習、動物分類学、動物生態学、有害動物各論（2021年度開講予定）、動物生理学を履修していることが望ましいです。									
授業の方法と進め方	実験や調査を続けて、得られたデータから卒業論文を執筆できるように指導していきます。その過程で、関連のある文献を読んで考察できるようにアドバイスをします。中間発表会も開催します。									
授業計画【第1回】	第1回 はじめに 自然環境実習という科目について概説します									
授業計画【第2回】	第2回 昆虫の分類・標本作製 昆虫の標本を作製し、分類について学びます									
授業計画【第3回】	第3回 動物の多様性調査 野外で小動物を採集し、多様性調査を行います（複数地点）									
授業計画【第4回】	第4回 宮崎大学附属演習林での溪流の動物の観察・植物標本作製 溪流の動物の採集と、植物標本の作製を行います									
授業計画【第5回】	第5回 絶滅危惧動物の生息地の観察 絶滅危惧種のチョウの生息地にいき、森林の成り立ちを学びます									
授業計画【第6回】	第6回 植物の分類 1: 単子葉植物									
授業計画【第7回】	第7回 植物の分類 2: 双子葉植物 草本植物の分類について学びます									
授業計画【第8回】	第8回 昆虫の飼育 昆虫の飼育法について学びます									
授業計画【第9回】	第9回 寄生性昆虫の観察 寄生性の昆虫について学びます									
授業計画【第10回】	第10回 陸生小動物の観察 陸生の微小動物を観察します									
授業計画【第11回】	第11回 水生微小動物の観察 水生の微小動物について観察します									

授業計画 【第12回】	第12回 博物館の見学 博物館を見学し、博物館の役割について学びます
授業計画 【第13回】	第13回 土壌小動物の観察 土壌小動物を観察します
授業計画 【第14回】	第14回 プラクトンの観察 プラクトンを観察します
授業計画 【第15回】	第15回 データ整理 多様性調査で得たデータについて、プレゼンテーションファイルにまとめ
授業の到達目標	・身近な生物の分類や生態、飼育・観察法に関する技術や知識を習得し、説明できるようになること。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(3)
授業時間外の学習 【予習】	材料の採取や、動植物について調べたりスケッチをする課題 【予習】毎回の講義前に配付する資料を見て予習をします。(1時間程度)
授業時間外の学習 【復習】	【復習】毎回の講義で配付した資料を見て復習をします。(1時間程度)
課題に対する フィードバック	課題の進捗状況を確認したり、最後に実習中に書き込みなどをして勉強をした資料を提出してチェックする。
評価方法・基準	実習内容と関係のある生物の標本やスケッチなどの提出物
テキスト	なし
参考書	なし
備考	